

【3年生】

	児童の現状の分析	授業改善の方針
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○助詞（はをへ）を正しく表記できない児童がいる。 ○思いや考えを自分の言葉で伝えることが苦手な児童もいる。 ○音読や読書にすすんで取り組む児童が多い。 ○漢字の定着に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポプラタイムを活用して、主語・述語、修飾語、助詞などの言語事項について、繰り返し指導する。 ○スピーチや作文の指導時間を意図的に取、話す力や書く力を高めていく。熟語を使った短文やねらいに沿った作文の指導を通して書く力を高める。朝の会等でのスピーチを通して話す力を高める。 ○家庭学習での音読、読書タイムでの読書活動を通して、読みの力を高めていく。 ○漢字学習を繰り返し実施したり、文の中で使えるように意図的に取り組ませたりする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人々の暮らしについて調べる学習ではすすんで取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習の成果を、絵地図や新聞等にまとめる力を培う。 ○用語の意味が正しく理解できるよう、国語辞典で調べたり言葉を言い換えたりさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算や九九などの基礎的な計算は概ねできるが、個人差が大きい。 ○量の単位、時間の単位に関する理解が十分ではなく、知識が定着していない。 ○問題場面を図に表すなど論理的に考える力が乏しい。 ○1万までの数について、数の構成、表し方、読み方などの習熟ができていないため、それ以上数の範囲を広げても理解が追いつかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な計算に繰り返し取り組んだり、ベーシックドリルを活用したりして更なる定着を図る。 ○数学的活動を通して、問題の意味を捉えやすくしたり、量感を養ったりしていく。また、日常的な活動の中でかさや長さの単位学習を取り入れ、理解を深める。 ○時刻や時間を求める際に、模型時計や数直線、式などを使って時間の動きを感覚的に捉えることだけでなく仕組みを考え、求め方を考える力を育てる。 ○文脈どおりに数量の関係を図（線分図・数直線など）に表したり、立式したり、未知数の求め方を説明したりする数学的活動を通して、数量の関係を明確に捉えられるようにしていく。 ○数の大きさについて実感的に捉えられるようにするために、磁石玉を用いて数を表したり、数を多面的に表したりする活動を大切にして学習を進める。

理科	<p>○植物を観察したり生き物を育てたりする活動を通して、動植物に関心をもつ児童が多い。</p> <p>○動植物の観察では、観察の視点を適切に捉えてスケッチしたり記録したりできる児童がいるが、個人差も大きい。</p>	<p>○観察・実験をするときは、観察の視点・実験のねらいを明確にして行い、結果から考えられることを自分のことばで表現することができるようにしていく。</p> <p>○問題→予想→実験→結果→まとめ・ふり返りの学習の流れを繰り返すことで、科学的な思考を養う。</p>
音楽	<p>○音楽的活動が好きで、すすんで活動する児童が多い。</p> <p>○課題を諦めずに取り組む児童が増えてきた。</p> <p>○読譜力の差が大きい。正確に楽譜を追っていける児童が少ない。</p>	<p>○児童にとってわかりやすく、意欲的に取り組めるような教材を工夫する。</p> <p>○頑張っている部分をその都度褒め、更に高い目標がもてるように指導する。</p> <p>○楽譜の仕組みについて、丁寧に指導し、読譜力を身に付けさせる。</p>
図工	<p>○既習の技能を活用できている児童がいる一方、学んだ知識、技能を忘れてしまう、あるいは活用できない児童がいる。</p> <p>○自分の表したいイメージをもつことに難しさを感じている児童がいる。</p>	<p>○活用を想定される技能については随時復習の時間を設ける。また、自ら考え、既習を生かして活動している児童の姿を認め、評価する。</p> <p>○イメージをもつための手だてやきっかけを提示できるように教材研究を深めるとともに、図工室内に児童の関心を高められるような図書や資料を充実させる。</p>
体育	<p>○進んで運動しようとする児童が多い。</p> <p>○生活や遊びの中での経験に差があり、技能差がある。</p> <p>○感染症対策により体を動かす機会が減ったこともあり、体力が低下している児童もいる。</p>	<p>○場や行い方（ルール）を十分に理解させ、経験や技能に差があっても楽しめるように工夫する。</p> <p>○学習カードを活用し、運動の仕方や作戦を意識して活動できるようにする。</p> <p>○意識的に各部位を動かすよう、十分に準備運動を行うとともに、主活動の運動量の確保に努める。</p>
道徳	<p>○自分の行動をふり返って考えたり、相手の立場に立って考えたりできる児童が多い。</p>	<p>○意見交流や対話の時間を十分に確保し、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。</p>
総合的な学習の時間	<p>○体験的な活動に興味・関心をもって参加したり、調べたりしようとしている。</p> <p>○報告したり発表したりすることに少しずつ慣れてきた。</p>	<p>○体験的な活動を通して学習を進めていけるよう、学習内容や取り組み方を工夫する。</p> <p>○学習のまとめとして発表会を設けるなど、表現活動を大切にしながら取り組む。</p>
外国語活動	<p>○すすんで活動している児童が多い。外国語を楽しみにしている児童も多い。</p>	<p>○児童にとって分かりやすい教材を扱うようにし関心意欲を高めていく。</p> <p>○ゲームなどを通して、表現に親しませていく。日頃から意図的に表現を入れて、なじませていく。</p>